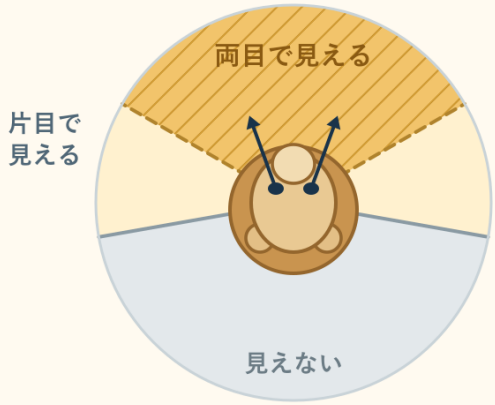
ライオンとシマウマの目と歯のちがい

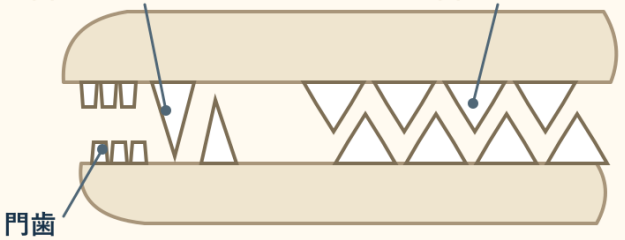
肉食動物と草食動物では、目のつき方と歯の形がなぜ違うのか

ライオン（肉食動物）



目が顔の前についている。

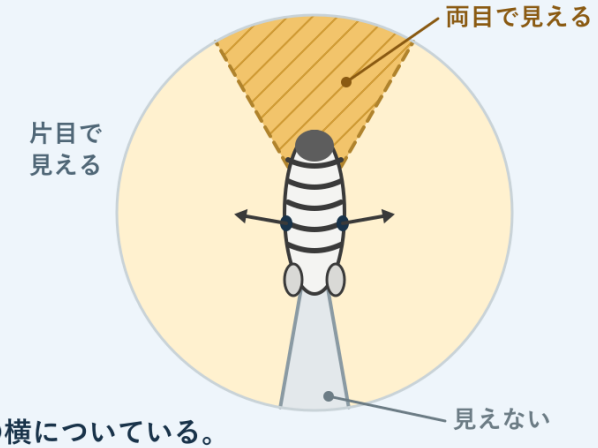
両目で見える範囲が広く、獲物までの距離をつかみやすい。



目のつき方（上から見た図）

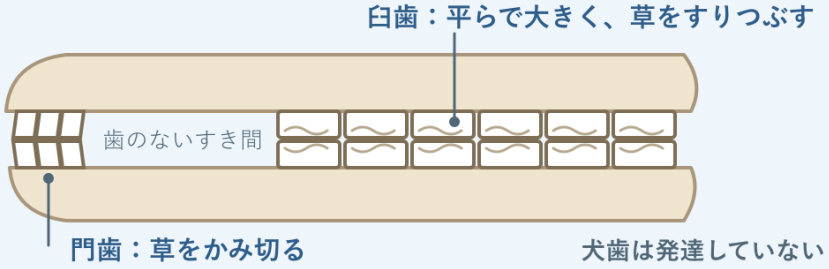
歯の形（横から見た図）

シマウマ（草食動物）



目が顔の横についている。

見わたせる範囲が広く、後ろ近くまで見えて、敵に早く気づく。



体のつくりは、食べ物と生活のしかたに合っている

ほかの動物をとらえて、肉を食べる。
→ 獲物をとらえる目と、肉を切りさく歯

草を食べる。肉食動物に気をつけて暮らす。
→ 敵に早く気づく目と、草をすりつぶす歯

※ 模式図。目は上から見た図（上が顔の前）、歯は横から見た図（左が顔の前）。角度、歯の形と数は実物を単純にしたもの。